



出雲小だより11月号

令和4年10月31日
大田区立出雲小学校
校長 関 眞理子

- ①いつでも、どこでも、チャレンジする子
- ②ずっと、なかよし、やさしい子
- ③もりもり、わくわく、きたえる子

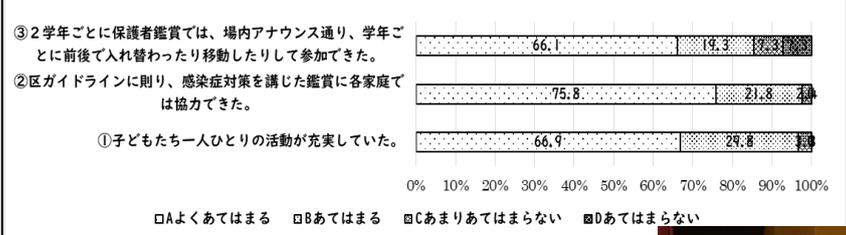
学校ホームページ: <https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所: 〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話: 03(3742)3542 FAX: 03(3742)3543



秋走る 打ち克つ眼(まなこ) 出雲魂 校長 関 眞理子

10月15日(土)、無事に「運動会」を実施することができました。保護者の皆様方が、日頃より、お子さんの健康状態を常に気を付けていただき、短距離走の補助、ライン引き、誘導、最後の片付けまでを南六郷中・出雲中学校の生徒たちのボランティア45名が、受付・誘導等をPTAが、支えてくださいました。感染対策を講じた2学年ごとの発表ができたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。特に、PTAより、子どもたちのために、「一致団結」の旗をいただきました。様々な機会で、思いを受け継ぎながら活用していきます。早いもので、秋から冬に深まる季節の中で、子どもたちが、自分の記録に、そして、皆で決めた目標に打ち克つよう、ひた向きに取り組んできた運動会は、単に運動することだけでなく、動きやリズムを学年で合わせることで、学年一つの表現につながることを経験することができた子どもたちの眼は、どの子も真剣でした。それは、代々受け継がれている、先輩たちの思いをこれから先にもつなげていく使命をもって臨んだ運動会の姿でした。児童鑑賞日の最後に、6年生児童が、一心不乱に表現した姿に、多くの下級生が感動し、「さすが6年生」「やはり、超えられない6年生」という声が拍手となっていました。どんな困難なことにも挑戦する出雲魂をもった子どもたち。この学びを次の学習・活動にも、そして、「未来を創る力」となってどんどん発揮してくれることと思います。御理解と御協力いただき、ありがとうございました。

令和4年度 運動会 保護者アンケート



プロから学ぶ—佐瀬 都司さん—

学校の近隣に、(株)京浜理化工業という会社があります。3年生の子どもたちが社会科見学で大変お世話になっています。10月20日(木)に、特別朝会として、佐瀬都司(させ くにじ)会長さんが来校され、子どもたちに語ってくださいました。



佐瀬さんは、いつも、世の中の困り感を何とかしたいと考えている方です。今までに大学や企業とともに、MRIの開発や携帯電話等のリチウム電池の製造などつくりだしています。開発、製造には、たくさんの苦勞をしながら、よりよいものを生み出していき、生活には欠かせないものをつくり出しています。ノーベル化学賞受賞者である吉野 彰さんとともに、リチウム電池を開発されました。世の中の困り感が私の仕事とおっしゃる佐瀬さん。もっとこうなるといいなあということを実現するため、たくさんの方法や仕組みを考え、生み出していらっしゃいます。諦めない心と、たくさんの方法を考える習慣を教えてくださいました。これから、未知なる課題に、子どもたちが果敢に挑戦し続けていくよう、未来づくり教育を進めていきます。

11月行事予定		
※今後の感染状況により、変更になる場合があります。		
日にち	曜日	内容
<11月はふれあい月間>		
1	火	委員会⑦ 令和工藝(6) 日本テセレーションデザイン協会(2)
2	水	体育朝会 永谷園(5) 午前授業
3	木	文化の日
4	金	お話会 5時間授業 SC
5	土	土曜授業 土曜補習 CAST(4) 東京都教育の日
6	日	
7	月	全校朝会 心のサポート週間始 昔遊び週間始
8	火	日本工学院(4) 5時間授業 SC
9	水	集会委員会集会 下校指導(1) 午前授業
10	木	安全指導日 亀田製菓(4)
11	金	読書月間終 心のサポート週間終 昔遊び週間終 SC
12	土	
13	日	
14	月	全校朝会 5時間授業
15	火	自主研究発表会 5時間授業 CAST(3) SC
16	水	集会委員会集会 永谷園(5) 午前授業
17	木	就学時健診 午前授業(1時完全下校)
18	金	5校交流会(6) お話会
19	土	
20	日	
21	月	全校朝会 遠足(5) WebQU(3・4)
22	火	5時間授業 WebQU(5・6) SC
23	水	勤労感謝の日
24	木	縦割班活動⑥
25	金	保護者会(1~3年、5組) お話会 SC
26	土	
27	日	
28	月	全校朝会 保護者会・情報モラル講習会(4~6年)
29	火	クラブ⑪ SC
30	水	体育朝会

※11/15(火) 自主研究発表会: 区内の先生方を対象に5校時の授業を公開します。下校時刻は、午後2:20頃の予定となります。
※予告なしの避難訓練(津波)があります。
※11/28(月) IZUMO SCIENCE SHOW

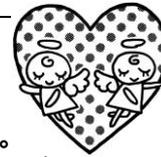
心を育てる「あ・い・う・え・お」

あ: あっ! そうか! い: いいこと言うね。
う: う〜ん、なるほどね。 え: え? どういうこと?
お: おっと、そういう考えもあったか!



11月 生活目標

～すすんで仕事をしよう。みんなと仲良くしよう。～



学校や友達のために、自分からすすんで仕事をしましょう。仲良く協力して、よりよい学校生活を送りましょう。

令和4年度 運動会への取組の様子を紹介します。

1 学 年	<p>「みんなは さいきょう」</p> <p>小学校に入って初めての運動会でした。曲に合わせて、みんなで踊りを覚えました。「失敗しても大丈夫」「笑顔で楽しく」という合言葉に、一生懸命に練習しました。広い校庭での隊形移動も覚えました。当日は、クラスカラーのポンポンを両手に持ち、元気いっぱい踊りきる事ができました。お家の方々からの御声援が励みになりました。</p>	
2 学 年	<p>「パラソル de SHAKE」</p> <p>カラフルなパラソルを使ったオリジナルの表現とリズムに乗ったキラのあるダンスを目指して取り組みました。グループに分かれて担当するパートの振付を子どもたちが考え、互いにアドバイスをしながら、形を作ってきました。本番も元気に、パラソルを左右に振ったり、クルクル回したりして、すてきな表現になりました。みんなで協力しながら、繰り返し練習した隊形移動も、見事に成功させることができました。</p>	
3 学 年	<p>「フレ！フレ！IZUMO」</p> <p>クラスカラーの手旗を使って「大きく、笑顔で仲良く、見ている人を元氣付ける。」という目標を子どもたちで考え、目標達成を目指して頑張りました。一つ一つの動作や目線まで気を付けて踊ることができました。隊形移動や見どころのウェーブも、タイミングを合わせて成功させることができました。この運動会期間中で、「一致団結」をして、3年生一人ひとりが、とても成長した運動会になりました。</p>	
4 学 年	<p>「風林火山 出雲節」</p> <p>「今まで見せたことのないカッコいい姿を魅せる」という目標をもって表現を行いました。初めて演舞に挑戦しました。手足をしっかりと伸ばす、腰をちゃんと落とす、動きをぴったり合わせるなど、一つ一つの動きに気を付けて舞いました。また、各チーム振り付けや、動きのタイミングが異なるので、動きを揃えることも意識しました。本番は、一つ一つの動きを意識し、息の合った演舞をすることが出来ました。</p>	
5 学 年	<p>「パワーの源 出雲ソーラン」</p> <p>自分たちが掲げた「一致団結」というスローガンに向けて、毎日のように練習を積み重ねてきました。自分たちで課題を見付け、一つ一つ解決してきました。本番は、一人ひとりの運動会を成功させたいという強い気持ちが重なり、見ている人の心を動かす表現ができました。5年生全員がパワーみなぎる全力の踊りを表現したことで、今まで味わったことのない達成感を味わえた大成功の表現となり、子どもたちの笑顔と汗が光っていました。</p>	
6 学 年	<p>「青春」</p> <p>体全体を使った表現と創作ダンス、フラッグダンスに挑戦しました。「過去最高」という目標を掲げ、練習に取り組みました。自分たちで曲を決めて、衣装や創作ダンス、フラッグの動きや、隊形を考え出しました。6年生全員で、協力し合い、教え合いながら完成させていきました。全力でフラッグ振り、目線や表情までこだわって表現運動「青春」を完成させ、皆の思いが動きに現れた「青春」でした。</p>	

大田区教育研究実践校 自主研究発表会(11月15日)

副校長 小林 正明

大田区教育委員会では大田区で学ぶ全ての児童に、実社会における問題の発見と解決を通して、新たなものや仕組みを生み出す原動力となる「創造的に考える資質・能力」を育成することを目指し、小学校第5・6学年対象の独自教科である、教科「おたの未来づくり」の新設を目指しています。

本校は、令和2年度からこの取組について大田区教育委員会より研究奨励を受け、これまで様々な企業や地域の人材と連携し、授業を創ってきました。子どもたちは試行錯誤を重ねながら、新たなものや仕組みのアイデアやデザインを創出し、創出したものをわかりやすく伝えることを目指しています。これらの力は自ら問題を発見し、解決する力であり、予測困難なこれからの時代をたくましく生きる力につながります。11月15日(火)には区内教員を対象に全学級授業公開し、本校の研究成果を発表します。PTAの皆様には受付等のボランティアを協力していただきますこと、感謝申し上げます。